生駒北小中で電動化建機を学ぶ授業

乗車体験で笑顔

生駒市高山町の市立生駒北小中学校（小竹仙哉校長）で14日、小学1〜6年生145人を対象に、電動化建機について学ぶ特別授業「電気で動くコマツが描くゼロエミッションの未来」（コマツカスタマーサポート主催、上武建設協賛）が開かれた。カーボンニュートラルを目標に掲げる建設機械メーカー大手のコマツ（東京都）と重機を使う土木工事を専門とし建設機械レンタルなども手がける上武建設（生駒市）が協力。出前授業は上武建設の上武勝宣グループ会長が同校出身であることから実現した。

コマツの電動化建機の前で記念撮影をする児童とコマツ、上武建設の関係者ら＝14日、生駒市高山町の市立生駒北小中学校

この日は、コマツの社員らが教室で座学、運動場で実演・乗車体験を行い、冒頭では小紫雅史生駒市長があいさつした。最初の座学で児童らは、電動化した建設機械がCO_2削減など環境に配慮し、SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みにつながっていることを学んだ。次に電動化建機の実演を見て、エンジン音やガソリンの臭いがしないことを確認。実際に乗車して乗り方や操縦方法も教わった。

小学6年生の児童は「家を建てることに関心があり、初めて建機に乗れて本当に感動した。（機械の）臭いがなく音も静かなので環境に配慮していることもよく分かった」と話した。上武会長は「子どもたちには多

コマツと上武建設 乗り方や操縦方法説明

くの経験をしてほしいと思い、平成29（2017）年の同校設立以来、南都銀行のCSR（企業の社会的責任）私募債を発行し書架や書籍などの寄贈を続けている。今回の授業を通して建設業界に少しでも興味を持ってもらえればうれしい」と語った。

授業終了後、上武会長と同社の上武建一社長から児童らへ、コマツ建機のプルバックカー2種や菓子の詰め合わせ、お仕事本リーフレット、安全啓発タオルが寄贈され、子どもたちに笑顔が広がった。

電動化建機に乗り笑顔を見せる児童ら＝同

ダム内部…
参加者ら…

紅葉だより　JR西日本調べ　（私）は私鉄

名所　最寄駅　17日現在

奈良